

### 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 多圏間の相互作用を紐解く新しい地球温暖化科学の創設
2. 研究代表者： 道端 拓朗（岡山大学 学術研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、大気圏・海洋圏・雪氷圏にまたがる相互作用の理解を深化させ、雲・降水に起因する気候フィードバックを素過程レベルで解明することで、多階層に絡み合った不確実性を解きほぐす、新しい地球温暖化科学に関する研究である。フェーズ1では、雲・降水・放射スキームをはじめ気候変動モデルの要改良点の核心に位置付けられる重要な課題において、優れた成果を得ている。成果発信・国際連携も含めた協働・アウトリーチをしっかりと行っているところも評価できる。フェーズ2では、NICAMやLESを交えることで新たな展開が期待できる。大気中に存在するエアロゾル、雲の影響や降水過程などを気候モデルにより精緻に反映させることで、見かけ上ではなく諸事象の相互作用も含めた気候モデルの再現性の向上への貢献を大いに期待する。

以上